

そうせいじゆ  
**早生樹の共同研究に関する協定の締結式を行います**  
**～短サイクル林業による収益性の改善を目指して！～**

本県森林の半数弱を占め主要な樹種であるスギは、主要な木材供給源として林業経営の主体を担っていますが、伐採・収益までの期間が長いことから、森林所有者の経営意欲低下の一因となっています。

このため、より成長が早く、利用までの期間が短い「早生樹」の導入により林業収益性の改善と再生林の推進を図るため、国・県・民間が連携して試験造林による共同研究を始めることとしました。

つきましては、協定の締結式を下記のとおり開催しますので、報道機関の皆様におかれましては、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

記

- 1 日時** 平成30年3月13日（火）午後2時から2時30分まで  
**2 場所** 仙台森林管理署（宮城県仙台市青葉区東照宮1-15-1, 022-273-1111）  
**3 内容** 2時00分 開式  
協定調印に係る経過説明  
2時05分～ 協定書調印  
協定者挨拶  
2時30分 閉式

- 4 締結者** <国>  
・林野庁東北森林管理局仙台森林管理署長  
・国立研究開発法人森林研究・整備機構  
森林総合研究所林木育種センター東北育種場長  
<県>  
・宮城県林業技術総合センター所長  
<民間>  
・株式会社村井林業代表取締役

**5 研究概要及び今後のスケジュール**

(1)実施場所 宮城県刈田郡七ヶ宿町（刈田嶽国有林 357林班る小班）  
（裏面位置図参照）

(2)面積 1.37ha

(3)主な研究内容 ①コウヨウザン，ユリノキ，シラカンバ等植栽方法の検討  
②各樹種の保育方法（下刈、除伐等）の検討  
③気象データ（気温、風速等）及び実証データ（樹高、根元  
径・胸高直径、枯死木本数等）の収集  
④キハダのベルベリン含有率データの収集  
⑤伐採木の強度測定

(4)スケジュール 2017年度：協定の締結  
2018年度：ユリノキ、シラカンバ及びコウヨウザンの植栽  
2020年度：キハダの植栽  
2022年度：協定の第一期間（2018～2022）の総括と第二期間  
の対応方針の検討

※ 気象データ及び実証データは、当面の間、継続して収集。

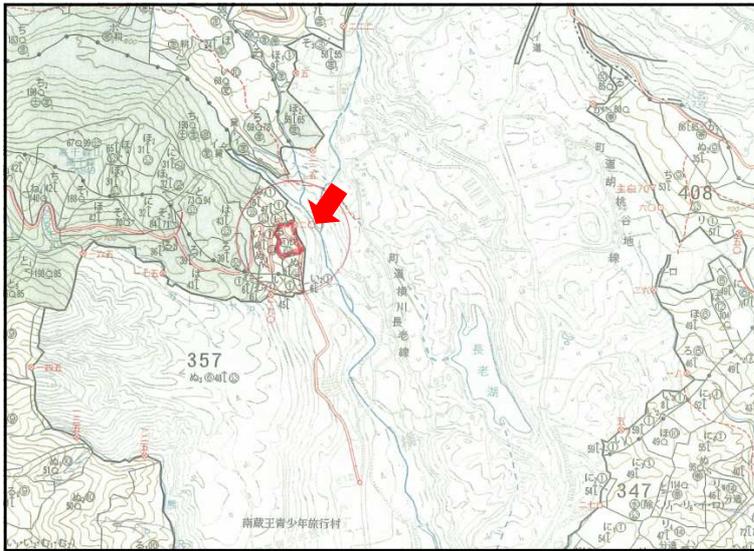
**6 協定期間**

5年間（主伐までの間、順次期間を更新）

（裏面へ）

(表面から)

## 7 協定地の位置



## 8 連絡先等

本協定に関する詳細については、以下の連絡先までお問い合わせください。

東北森林管理局仙台森林管理署（担当：地域林政調整官 岩間）

TEL (022) 273-1111 FAX (022) 273-1115

### 【参考】対象樹種及び主な用途

- ・ 広葉樹：キハダ（薬用）、ユリノキ（合板、楽器）、シラカンバ（家具）
- ・ 針葉樹：コウヨウザン（合板、家具）



コウヨウザン



キハダ



ユリノキ



シラカンバ